

PIERCING THE SKY EICHIRO SAKATA

2004年9月4日[土]→10月11日[月・祝]

東京都写真美術館 2階展示室[恵比寿ガーデンプレイス内]

開館時間 10:00～18:00(木・金は20:00 入館は閉館の30分前)

休館日 毎週月曜日(但し月曜日が祝日の場合は開館し翌日が休館 9月21日は閉館)

観覧料 一般700(560)円 / 学生600(480)円 / 中・高生・65歳以上500(400)円

()内は20名以上の団体料金、東京都写真美術館友の会割引料金 小学生及び障害をお持ちの方とその介護者は無料 第3水曜日は65歳以上無料(証明できるものを提示下さい)

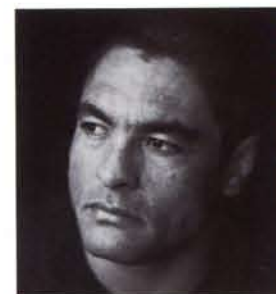
主催 東京都写真美術館 朝日新聞社

協賛 JHI/EIDO ニコン ニコンカメラ販売

サッポロホールディングス サッポロビール 富士写真フイルム

協力 恵比寿ガーデンプレイス 写真弘社 富士フイルムイメージテック

坂田栄一郎・天を射る



ヒクソン・グレイシー (格闘家)



色川大吉 (歴史学者)



エディー・ブー (自然保護活動家)



マニュエル・ルグリ (バレエ・ダンサー)



PIERCING THE SKY EICHIRO SAKATA



根が丈夫なら樹は倒れない
谷が深ければ泉は枯れない

自然と人。2つの写真が対峙し、つくりだすメッセージ。

東京都写真美術館では肖像写真の名射手、坂田栄一郎の展覧会を開催いたします。

氏の肖像写真は誰もが目にすることがあると思いますが、

今回は約7年前から制作されていた未発表のシリーズ(自然と人)を展示します。

疲れ切ってしまった現代人に送る慈雨のようなメッセージを受け取ってください。

坂田栄一郎

1941年東京生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業後、渡米。リチャード・アヴェドンに師事する。

1970年の初個展「Just Wait」以来、肖像写真を中心に作品を発表している。「注文のおおい写真館」、「amaranth」など肖像写真の中に、

それぞれの時代の世相を反映させた意欲的な作品を発表し話題を集める。

1993年に世界でもっとも伝統のある写真祭として名高いアルル国際写真フェスティバルにメインゲストとして招待され、

同年アルル名誉市民賞を受賞。また雑誌「アエラ」の創刊から表紙写真のために800人以上の時代の顔を今も撮り続けている。

○ 作家によるギャラリートーク 2004年9月11日(土) 14:00～

○ ワークショップ(有料・事前申込制) 2004年10月9日(土) 13:00～17:00

作家が自身の作品について語り、また参加者の写真を講評します。＊詳細についてはお問い合わせください。

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099

<http://www.syabi.com>

交通機関 JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分

地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分



エンゾ・アングス (画家)